

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上が107%、来客数が106%と好調である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今までになく車の販売が好調である。購入に至るまでに要する時間が短くなっている。
(北関東)	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・消費税絡みか、リフォーム、太陽光発電の引き合いが順調に伸びている。
		百貨店（店長）	お客様の様子	・単価が高くても高品質の商品は売れており、客単価が上昇してきている。衣替えもあり、男性用衣料では厚手の商品が売れ出している。ただし、婦人服の動きは鈍い。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・9月に入ったところから、微増ではあるが1人当たりの買上点数が上向き傾向に変化している。この傾向は10月も続いており、1点当たりの単価も上昇している。少しだが、お金が回っている感じがある。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・買上金額が少し増えているようである。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・3か月前よりは来客数、販売量共にやや増加し、それに伴って売上もやや増えてきている。
		衣料品専門店（販売担当）	販売量の動き	・先月中旬以降、消費税の話が出てきてかなり冷え込んでおりずっと悪かったが、今月は年金支給月に当たったことや、寒さが手伝ってか、厚手の物が動き出している。客も自分たちの事は自分で考えようという前向きな雰囲気が幾分出てきている。景気は3か月前よりは若干良くなっているが、それでも全体的にはあまり良い状況とは言えない。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・台風など天候の影響もあり、来客数の増加は期待できなかったが、付加価値の高い商品が動いている。テレビは大型と4Kテレビが好調で、スマートフォンやパソコンのハードも単価が上がっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車の評判が良く、受注が良好であることに加え、新たに発売になる軽の新型車の事前受注も始まっている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・来年の消費税増税を控えて、その前に自動車を購入したいという客の来店が増えてきている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型車の販売が好調である。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・一品単価が徐々に良くなってきており、前年比で2～3%は上昇傾向にある。総体的な販売量、買上点数に比べ、売上高が上昇してきているのは、一品単価の向上が大きな要因である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年同月比で売上は伸びている。ただし、週末に集中しており、平日の売上は変わらない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・前年に比べ、団体の利用客が増えている。
		観光型旅館（経営者）	それ以外	・求人を出しても人が集まらなくなってきたり、人材確保が難しくなっている。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・企業の出張などが多くなっていることや、企業研修などの宿泊についても前年より若干良くなっているため、販売、稼働状況が前年同月比で良くなっている。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・観光シーズンで県外からの客はあるようだが、中心街への流れ込みは全くない。暑さが続き、秋物の購買意欲がないのも不振の一因である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・2～3年前から始まった大手のランドセルの早期販売合戦で、小売店には全く人が入らなくなった。昨今は路面店に人が入りにくくなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・大型スーパーが郊外に近日オープンする予定で、現在準備が進んでいる。地元スーパーが改装オープンして連日多くの人出でにぎわっているが、商店街には人の流れがなく、寂しい限りである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も前半までは祭り等、人出があったが、後半になって台風の影響を受け、イベントの中止、延期で集客がままならない状況が続いている。客も二の足を踏んでいるようである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず必要な物を必要な時になって購入する客が多い。消費税関連の駆け込み購入も期待したいところだが、商品の動きは鈍い。

一般小売店〔青果〕(店長)	販売量の動き	・相変わらず必要な物以外は一切買わない。お使い物も本当にシビアで、かなり低額になっている。
百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・中旬以降、コート等、重衣料に動きが出てきたが、トータルでは衣料品全般の苦戦が目立ち、過去3か月と比較しても消費行動に改善は見られない。また、現時点では消費税増税前の駆け込み需要も特に見受けられない。
百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・気温の低下に伴い、主力の衣料品が動き出している。一方、美術品等の高額品は動きが止まった感がある。トータルで見れば3か月前と変わらない。
スーパー(総務担当)	販売量の動き	・今月の食品、衣料、住関連、すべて前年の売上に到達していない。平均単価は前年と変わらないが、数量が悪い。
スーパー(統括)	販売量の動き	・月初は天候が安定し、秋冬物や鍋関連といった季節商材の動きが前年を上回るペースで好調だったが、2度にわたる台風や大雨の影響で前年並みに戻ってしまった。
コンビニ(経営者)	お客様の様子	・やや悪いまま変わっていない。コンビニなので、キャンペーンやセールに反応して客の動きは良くなるが、来店が増えてもセール対象以外の商品にはなかなか手が伸びない状況である。入れたて100円コーヒーの発売で来客数は前年を上回っているが、客単価は前年割れである。
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・販売銘柄に変化はあるものの、販売台数、売上高にあまり変化は見られない。ただし、軽自動車の比率は高くなってきている。また、当社は顧客に法人ユーザーが多いが、車検では貨物車の経年車が多くなってきている。
乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・新型車が出て販売のイベントを行ったためか、3か月前と比べ、少し売上が伸びている。
乗用車販売店(管理担当)	販売量の動き	・ハイブリット車両や低燃費で安全装置機能付きの軽自動車の販売は伸びているが、他の車の販売は苦戦している。
乗用車販売店(店長)	販売量の動き	・販売、整備共に3か月前と変わらず、来客数が少ない状況である。来客があっても、財布のひもが固くなっている様子で、なかなか販売までには至らない。
住関連専門店(仕入担当)	販売量の動き	・今月は節約意識の高まりを感じる月であった。価格訴求には反応があるが、それ以外の傾向はこれまでと変わらず低調である。
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・この何かが月来客数はほとんど変わらない。少し減少しているくらいである。客単価もそれと共にやや低くなっている。
スナック(経営者)	来客数の動き	・地元の選挙の影響かもしれないが、来客数が少し落ち込んでいる。
スナック(経営者)	競争相手の様子	・競争相手や客の様子を見ても、景気が上向くような状況とはほど遠い気がしている。
観光型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・天候に大きく左右される業界なので、今月は台風の影響によるキャンセルや外出を控えたために、このところ前年比で好調に推移してきたところが、大きく落ち込んでしまった。
都市型ホテル(支配人)	来客数の動き	・予約に関しては、特に増えもせず、減りもしない、ほぼ横ばいといった状況である。
旅行代理店(所長)	来客数の動き	・秋季の行楽シーズンとしてはほぼ順調である。ただし、国内、インバウンド共に個人旅客中心であり、団体需要は今一つ伸び悩んでいる。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・消費税増税や為替により先が見えないためである。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・国内旅行の受注は前年並みであるが、海外旅行は企業出張も含め、前年の7割程度である。国内旅行は東京方面の受注が多く、遠方への旅行は少ない。個人客については相変わらず発生が遅く、間際の手配となるため、成約につながらない。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼も夜も動きが悪く、前年同月と比べ8%の減少である。
通信会社(経営者)	単価の動き	・地方ではデフレ脱却どころか価格競争による顧客争奪戦がますます激化している。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・広告宣伝をしても、客の反応はほとんどない。

通信会社（局長）	お客様の様子	・3か月前と比較し、施策の効果もあり販売数量は確実に増加しているが、客の様子を見る限り、景気の方 向に変化は感じられない。消費節減傾向は根強く、消 費拡大による景気回復感は一向に実感できない。	
遊園地（職員）	来客数の動き	・新規施設のオープンや、野外音楽イベントの実施、 外国人観光客の増加により、来客数は堅調に推移して いる。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・秋のゴルフシーズンに入り、予約は順調であった が、台風によりキャンセルが多く、厳しい月であっ た。ただし、紅葉の11月の予約は好調である。	
競輪場（職員） 美容室（経営者）	お客様の様子 競争相手の様子	・入場者数、購買単価共にほとんど変化がない。 ・安売り美容チェーンが21日にオープンした。カット 料金980円、タイムサービス690円、490円と、通常料 金の5分の1であり、安売り店の存在が定着すると、 通常の店はカット料金を下げざるを得なくなるため、 業界全体としてデフレとなる。オープン当日は客の入 りが少なかったが、今後の動向を見守りたい。	
その他サービス 〔立体駐車場〕 （従業員）	来客数の動き	・月ぎめに関しては法人契約が少し増えたが、その分 個人契約が減っているので、差し引きプラスマイナス ゼロで変わらない。	
その他サービス 〔イベント企 画〕（職員）	お客様の様子	・都市部や大企業は良いのかもしれないが、地方の人 の動きは依然として変わらない。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・期待しているほど仕事量に変化がない。	
住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き	・いつまで続くか分からないが、まだ消費税増税の特 需が継続している。	
住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・相変わらず物件の動きはほとんどない。土地の売買 も、よほど安い物以外は引き合いもないし、貸店舗等 は相変わらず空室が続いており、街の中もシャッター が下りたままになっている。	
やや悪く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・7月から近隣に大型スポーツ用品店が出店し、客は どうしても大型店に行ってしまう傾向にあるというこ とが分かり、大変な時代だと感じている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の財布のひもが固く、自分のためにはお金を使う が、土産物には使わない。
	百貨店（店長）	販売量の動き	・今月は、消費税増税の発表に加え、台風などの天候 不順もあり心理的に購買意欲の上らない月であっ た。
	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・商品価格が上昇傾向にあり、販売点数などが前年を 下回る傾向が続いている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・店舗前の道路工事のために、客数が激減しており、 前年を大きく下回っている。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・前月出店した競合店との競争がなかなか厳しい中 で、台風が何回も来たので、今月は実績があまり残せ なかった。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・コンビニは暑いと来客数が増えるので、3か月前の 夏と比べると100人くらい減少している。
	乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・ホテルや売店関係の風評被害はなくなってきたのか と思っているが、それにしては観光客が多少なりとも 来ている割に、観光地のオーナーは車を買う気分にな らない。台風の影響もあるのだろうが、ほとんど新車 の話が出てこない。中古車は多少売れているが、2～ 3か月前より販売量が減少している。
	住関連専門店 （店長）	来客数の動き	・来客数が前年比94%と減少している。
	高級レストラン （店長）	販売量の動き	・景気も多少減速感があるが、それ以前に中心市街地 の衰退が著しく、ここ半年急激に悪化している。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・報道されている景気回復感はなく感じられない。 行楽等で昼の食事などに多少の動きを感じるが、地元 相手の夜の動きはさっぱりである。
	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・福島第一原子力発電所の放射能放出問題での風評被 害により、予約の取消し及び他地域へと行き先変更が あり、更に自然災害での予約の取消し等々もあり、影 響を受けている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず街の中を歩いている人がいない。もちろ ん、タクシーを利用する人もいない。営業区域内で は、2軒の居酒屋が9月30日で閉店し、ひっそりとし ている。1か月の營收が1人当たり平均40万円を切る ようになってしまった。

		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・台風などの影響で、連休や週末などの来客数が落ち込み、売上にも大きく影響が出ている。
		ゴルフ場 (業務担当)	単価の動き	・売上がやや悪くなっている。
		設計事務所 (所長)	来客数の動き	・今月は全く成果がない。来客数が減少し、動きもなく、悲惨な結果に終わっている。
		設計事務所 (所長)	来客数の動き	・消費税増税が決まり、工事契約期限の9月も過ぎたことから、仕事の情報がほとんどない状況である。
	悪くなっている	一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・夏の間は天気も良かったが、その後は台風の影響により商品の動きが鈍くなったので、悪くなっている。
		百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・老舗の子ども服メーカーの破産や、衣料品メーカーの業績悪化による生産量の削減など、商品供給が減少し、売場運営に支障が出ている。
		スーパー (経営者)	競争相手の様子	・小さな商圈に出店ラッシュで価格競争が続いている。
		コンビニ (店長)	競争相手の様子	・2か月前に競争相手が出店し、そのことを考慮するとどうしても悪くなったという回答になる。来客数もまだ戻ってきていないので、やはり厳しい状態である。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・一番の原因は市長選があったことである。宴会や会議などはほとんどやらないような状況が続き、非常に悪かった。あわせて、収穫の時期に当たり、農繁期で忙しい日々を送っていることもあり、今月は非常に悪くなっている。
		通信会社 (経営者)	販売量の動き	・先月同様、販売量は停滞のまま推移しており、上向く傾向は見られない。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	窯業・土石製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・多少荷動きが感じられるようになった。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車関連の試作開発案件、航空関連の開発案件が活発に動き出してきた。また、建設機械関連もこれ以上は落ち込まないと、取引先から情報が入っている。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今のところ取引先、受注量、販売量の動き共にやや良い動きとなっているが、2~3か月先は分からない状況である。
		その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・わずかではあるが展示会の来場者数が前年を上回ってきた。遅ればせながら冬の商戦への準備が始まったのではないかと。消費税増税が決まったことにより、高額品を販売しようとする積極的な動きが出てきている。
		金融業 (調査担当)	取引先の様子	・当社が実施した四半期別業況アンケート結果では、7~9月の企業の景況感は3四半期連続で改善を示しており、特に、非製造業の業況判断D Iは1997年以來のプラス水準まで回復している。
		金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・富士山の世界遺産登録により、観光客が増加している。
		金融業 (役員)	受注量や販売量の動き	・まだ全般的な景気回復ではなく、建設土木業や自動車部品製造業の受注見込みが良いだけで、それ以外は横ばいである。
		広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・前年同月比で3割ほど広告出稿依頼が増えている。消費税増税前の駆け込み商戦への準備と思われる。しかし、その反動が怖いという話もよく耳にする。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・製材、建築、土木、砕石業などの土木建設関連は受注が好調で、売上も増加傾向にある。また、食品の小売及び製造、飲食店、観光関連にやや動きが出ている。一方、運送業、物流関連、製造業の下請などでは企業により好不調があり、一様でない。
	変わらない	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・数量的にはほぼ横ばいで変わらない。
		食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・観光シーズン中の相次ぐ台風の影響で、ホテル、ワイナリー見学のキャンセルも多く、例年以上に観光客が減少した。
		化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・例年なら夏が過ぎると荷動きが良くなるが、今年はいまだにその兆しが見えてこない。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・イベント対応の体験教室には動きがあるものの、商品受注状況は依然として変わらない。

	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・当社は主に電動工具の部品を作っているが、あまり注文は増えていない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で物が動き始めてきているような気がする。しかしながら、部品の取り合いをしているような状況であるために、当社ではかえって部品調達に時間がかかって、思うように生産が進まず、売上も多少は上がったが、そんなには変わっていない。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・工事を受注しても、それを消化できる下請がないという騒ぎになってきている。そのため、受注したくてもできず、売上が上がらない状況になってきている。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・10月は台風や雨など天候不順の日が多く、例年動くパーベキュー、レジャー用品等の物量が前年より落ち込んだ。その反面、気温が低いこともあり、こたつ、カーベットの出荷が良く、全体的には例年並みの物量である。	
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が前月、それ以前とあまり変わらないような状況で、上がるというようなこともなく、現状維持が続いている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比95.0%である。市長、市議会議員補欠選挙があり、その広報チラシが入ってこの状況である。消費税増税が決まり、駆け込み需要を期待する店が多い反面、コピー機等が売れないといったOA機器販売店の声も聞かれる。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・前年同期で見ると、2～3か月前から少しずつ良くなってきている。そういう意味で変わらないということである。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・高級品も売れてはいるが、一方で、売上が落ちるので材料費が上がっても値上げできずにいる事業所も多数ある。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・下期に入り、上期の期末での在庫調整等で受注が伸び悩んでいる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、受注額共に低下している。親会社やメーカーは、内製化や下請の統一化を考えており、中小、零細企業は淘汰されそうである。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ、量的にも売上もさほど変化はない。水準的には高いが、9月以降のコストダウン及び原材料、特に燃料代の上昇により、収益面は弱含みで、3か月前と比べると減益基調になっている。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月の半期末にもかかわらず、新規案件の発注が遅れ、受注量の落ち込みが目立つ。回復には2、3か月かかる。	
悪くなっている	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事は発注額が前年比10%増であるが、当社の受注額は前年比10%減である、これは指名入札、競争入札共に最低でも5社以上による最低価格でくじ引きをするためである。民間工事についても競争による安値受注が何年も続いている。今後は赤字にならないよう経費の節減を図っていく。	
雇用 関連 (北関東)	良く なっている			
	やや良く なっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・当社でも募集をかけているがなかなか人が集まらない状況がずっと続いている。人を確保するにはやはりある程度高い時給や給与を設定していかないと、以前のような最低賃金ぎりぎりでの雇用というのはなかなか難しくなっている。働く場、量、他の企業の募集状況などを見ても、賃金が徐々に上がってきているという気がしている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺には多くの自動車関連企業があり、多少景気が良くなってきているが、製造業の求人はあまりない。多少忙しくなっても、まだ現状のまま、積極的な募集は控えているようである。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・製造業では電子関連部品等の組み立て、食品関係の募集が出ている。また、住宅関連等、建設、建築関係にも幾分動きが始めている。小売販売、衣料等については、猛暑が続いたせいが出足が鈍っている。食品はかなり高騰し始めたので、売上、生産、販売等、苦しいところである。	

	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・採用状況、条件が良くない。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求人数は7月が前年同月比で4.3%減、8月は9.2%減と、減少傾向で推移していたが、9月は6.0%の増加となっている。一方、新規求職者数を見ると、7月は前年同月比10.9%増、8月が8.1%増、9月が13.0%増と、増加傾向で推移している。管内主要企業及びその関連企業で昨年12月から3月にかけて早期退職を実施、その後、4～6月にかけて追加で実施された関係で、求職者が増加したわけだが、まだその影響が残っていると思われる。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数、求職者数共に大きな動きはない。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・企業訪問で景気の状態を尋ねても、良くなったという実感が無い。農業関係の助成金のおかげで農機具等の注文が増えているとのことだが、自律的な回復ではなさそうである。また、消費税増税前の駆け込み需要で建設業等に人手不足感があるようだが、消費税増税後の落ち込みを懸念している企業もある。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数、求職者数共に、ここ3か月は大きな変動なく推移していることから、求人倍率も変化はない。4月以降は求人倍率も下がることなく大幅な増加となっていたが、現在は一息感が見られるため、横ばいと判断している。
	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・製造業においては、直近の受注が増えてきた企業で派遣対応が目立ち、消費税増税を意識して一般社員の採用は手控えている状況である。
	学校[専門学校](副校長)	求人数の動き	・消費税増税前の需要に対応するための求人枠も増えているように感じる。製造業や建設業などの特定の職種では求人数が増えているが、事務職などの採用枠はいまだに少ない。
やや悪くなっている	人材派遣会社(経営者)	周辺企業の様子	・忙しい会社が少なく、当社への人材派遣の依頼、募集がない状況である。
	人材派遣会社(管理担当)	求職者数の動き	・高い時給や給与を希望する求職者は多数いるが、通常の時給での求職者は少ない。
悪くなっている	-	-	-